

名称 メディアスホールディングス株式会社
 英字 MEDIUS HOLDINGS Co.,Ltd.
 本社所在地 東京都中央区京橋一丁目1番1号
 電話 03-3242-3154 (代表)
 FAX 03-3242-5016
 E-mail ir.m@medius.co.jp
 設立 2009年7月(協和医科ホールディングス株式会社として設立、
 2010年10月に現社名へ商号変更)
 代表者 代表取締役社長 池谷保彦
 資本金 1,285,270千円(2014年11月27日現在)
 事業内容 グループ会社の経営管理及びそれに付帯する業務
 決算期 6月末



JR東京駅より徒歩3分
 東西線日本橋駅より徒歩4分
 銀座線京橋駅より徒歩3分
 浅草線宝町駅より徒歩7分

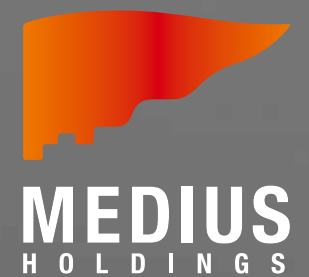
ひとへ。いのちへ。信頼へ。

ひとへ。いのちへ。信頼へ。



証券コード3154

メディアスホールディングス株式会社
 〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目1番1号 八重洲ダイビル3F
 TEL.03-3242-3154 FAX.03-3242-5016
 www.mediuss.co.jp



証券コード3154

企業の使命

いのちに信頼されること。

Yes

国内有数の医療環境サプライヤーとしての
揺るぎない覚悟と実績に基づく信頼。
それが私たちの強みです。

医療機器の供給を行なう事業会社を統括する持株会社である以上、
メディアスホールディングスは、その問いから逃げません。
答えは常に、「YES」です。
今日も社員一人ひとりが真摯に命と向き合い、
それぞれの責任を果たすべく、挑戦を続けています。
私たちは、患者様の笑顔というゴールを目指す医療チームの一員なのです。
これまでもその自負と誇りを胸に、
ドクターをはじめとする医療従事者の方々が
持てるチカラを存分に発揮できるよう、
最高かつ最適な医療環境を創造し提供してまいりました。
国内有数の医療環境サプライヤーとなった現在も、
私たちがひとつの命を救うために注ぐ情熱は増すばかりです。
これからも積み重ねてきた信頼にお応えするために、
グループ各社の力を結集し、より強固な医療機器供給体制の実現、
そして日本のすべての医療環境の向上に邁進することをお約束いたします。

メディアスホールディングス

経営方針

規模拡大は医療のためか。

Yes

スケールメリットを
最大限に活かすために、
私たちは日本一を目指します。

供給体制の
シナジー
効果

安定供給の実現

仕入価格の低減

販売力の強化

システムの共有

情報・経験の共有

最善の医療を、安定的に、安価なコストで、日本中に届けたい。
それがメディアスホールディングスの願いであり、使命でもあります。
実現のためには、仕入面でも供給面でも、
事業規模とシェアの拡大が不可欠になります。
だからこそ私たちは、グループの事業会社の育成とともに、
M&A等も積極的に行い、日本一の医療商社グループを目指すのです。
そこに生まれるスケールメリットとシナジー効果を、
安全・安心・安定・安価という形で医療の現場に還元してまいります。
同様に、規模だけでなくサービスの質、社員の質でもトップを目指します。
メディアスホールディングスが誇る、物流システム、メディカルシステム、
そして熱い志を持つ人材が日本全国に広がっていくことが、
この国の医療環境の改善につながると確信しているからです。
課せられた社会的な使命を果たすため、私たちは進化と拡大を続けます。



事業内容

課題解決の方法はあるか。

Yes

医療機器の供給体制と 先進の管理システムなど、 高度なノウハウを駆使して 課題を解決いたします。

急速に進む少子高齢化や医療法の改定など、医療の現場を取り巻く環境は激変の時を迎えています。さらに「医療」という分野に期待される領域も従来の病院や医療機関だけではなく、リハビリ施設や介護施設、自宅にまで広がり続けています。私たちメディアスホールディングスは、時代の変化をいち早く捉え、新たな課題を的確に解決するために、活躍のフィールドを広げ、深め、究めてまいります。軸となる医療機器販売では、各事業会社が有する地域医療に関する知見を活かしながらあらゆるニーズに応えることで、医療の現場の発展と負担の軽減に貢献します。また、手術運営支援プログラム「サージレーン」や医療材料データベース「メッカル」などで業務や経営の可視化を図るなど、あらゆる角度から医療の現場を見つめて、健全な経営をサポートしていきます。医療に関する課題の解決は、私たちにお任せください。

医療機器販売事業

注射器やガーゼなど、医療現場に必要な消耗品から、先端医療機器の手術支援ロボット・ダヴィンチまで、取扱品目は30万種以上。薬品以外の医療の現場で求められるあらゆる物品を、求められるタイミングでお届けします。また、新しい医療機器や技術の普及に努め、より上質な医療を誰もが受けられる社会の実現にも取り組んでいます。



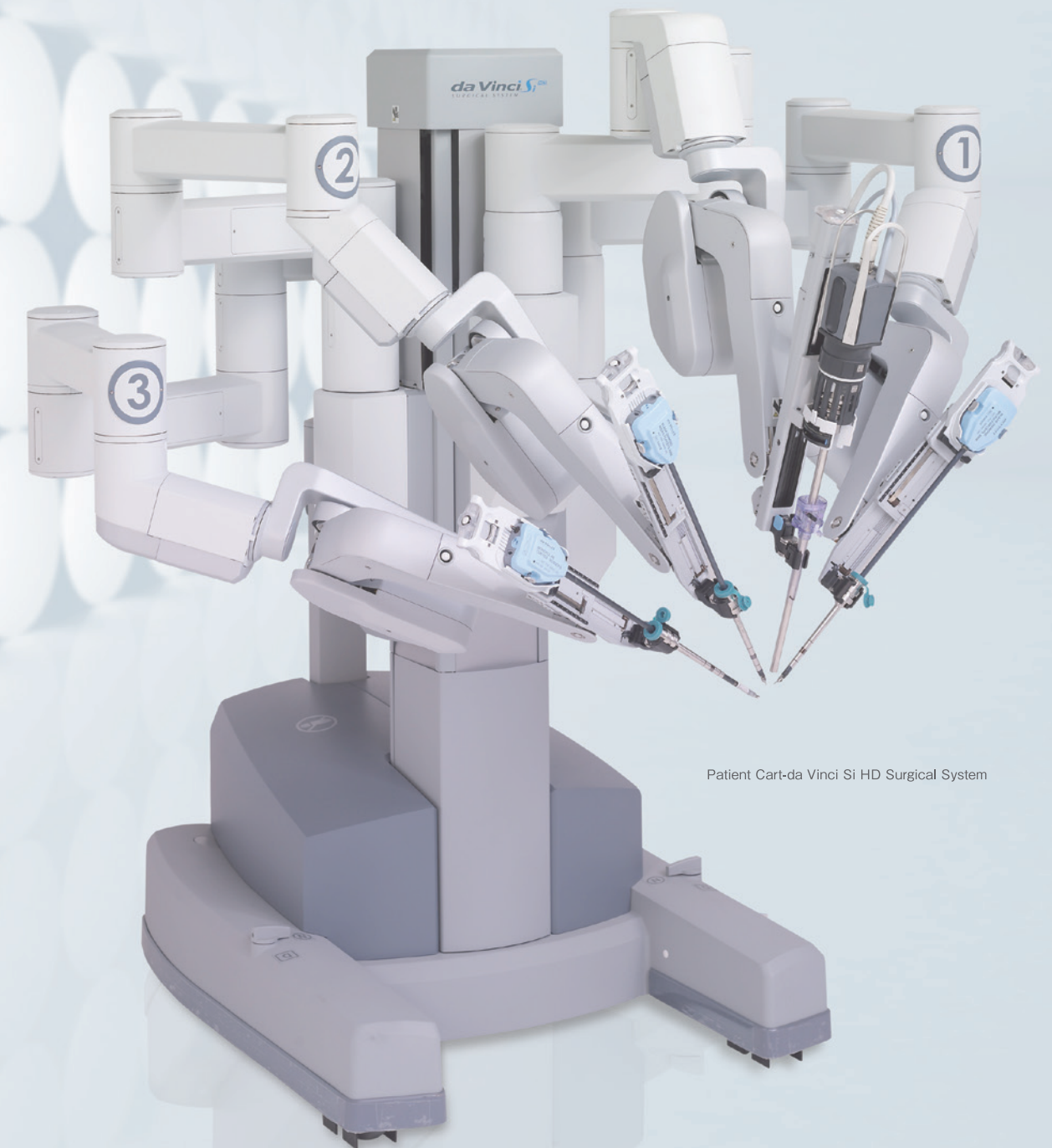
医療機器の修理及びメンテナンス事業

医療機器の安定供給に加え、当社グループが病院等医療施設に販売した医療機器の修理及びアフターサービス、病院等医療施設との保守契約に基づく医療機器全般のメンテナンスを行っています。知識と技術の向上を図るトレーニングを受けた専門のスタッフが、常に適切な使用環境を整えることで、医療の現場の安心と快適を支えています。



介護・福祉事業

近年、益々ニーズが高まる介護福祉機器を、病院や介護施設、及び一般個人に販売・レンタルしています。福祉先進国と言われる北欧諸国からの優れた福祉機器を、積極的に取り入れていることも特徴のひとつです。また、より社会性の高い救急車搭載医療器械やAEDなどの救急用品の販売・レンタルなども行なっています。



Patient Cart-da Vinci Si HD Surgical System



医療と共に進化できるか。

Yes

経験や知識を共有し
意識を高める教育体制。
私たちは常に成長を続けます。

今、この瞬間にも医療技術や医療機器は進歩を続けています。
メディアホールディングスグループの社員には、
常にその速度に追いつくことが求められます。
私たちは適切な役割分担を行なった上で、
定期的な勉強会などを通して最新の知識を身につけることはもちろん、
独自の情報システムにより、生きた現場の情報を共有することで進化を続けます。
こうして成長を続ける社員一人ひとりの人間力が、私たちの最大の武器であり、
日本の医療環境を向上させる力になると信じています。

人を育て、グループの力に変える教育訓練。



私たちは事業会社ごと、またはグループの垣根を越えて、勉強会やセミナーを積極的に行なっています。しかし、画一的な人材を育てることはしません。幅広い分野を見渡せる人材、ひとつの分野を深く究める人材など、しっかりと役割分担をした上で、それぞれのプロフェッショナルを育てています。それは現代において、個人の力だけでは日進月歩の医療現場のニーズに応えることが難しいからです。私たちは、高いスキルを有する個人が集いチームとして機能することで、医療環境の向上に貢献していきます。



独自のメディカルシステムを構築し医療機関をサポート。



医療機器だけでなく、私たちに求められるサービスも日々高度化・複雑化しています。そうしたニーズに応じて開発したサービスに、医療機関の在庫管理や購買分析によってムダやミスを可視化し削減するシステム「メッカル」や、手術室のより効率的な運営を支援するプログラム「サージレーン」などがあります。医療環境の向上のために課題を見つけだし、解決のために新しい試みに果敢に挑戦する人材を育てることも、私たちの大切な役割です。

人間力の成長がSPD（物流管理体制）の強化につながる。



グループ各社のノウハウを結集して、持てる力を最大限に活かせるSPD（物流管理体制）を構築しています。これにより在庫の管理や需要の予測、有事の際の供給体制の確保などを適切に行える環境が整いました。一方で、手から手へ品物を届ける物流の主役が人であることに変わりはありません。優れたシステムを確実に使いこなすスキルと、人材教育によって命に携わる仕事をしているという意識を高めることで、誤発送などのミスをなくしていきます。



利益より正義を選べるか。

Yes ● 医療分野に携わる自覚と責任。私たちは企業人であるまえに、医療人です。

医療という分野に携わる私たちには、重い責任が課せられています。
判断の基準は常に、倫理に適用ものでなければいけません。
企業規模や提供するサービスの質だけでなく、
医療人としての心構えでも、日本一を目指していきます。

コンプライアンスガイドラインに示された指針

お客様からの信頼を確保するために	株主・投資家からの信頼を確保するために	仕入先との信頼関係を確保するために	従業員としての責務を果たすために	社会からの信頼を確保するために
お客様満足の追求 関係法令・社会規範の遵守 誠実な姿勢 製品の安全性確保 公正取引競争規約の遵守 接待・贈物のあり方 顧客情報の管理	健全な事業活動と適正な情報公開 情報公開の正確性 インサイダー取引の禁止 内部情報(重要事実)の管理	独占禁止法の遵守 仕入先との対等な関係確保 接待・贈物のあり方 仕入先機密情報の取り扱い	社内ルールの遵守 人権尊重 役職員の個人情報管理 会社資産の適正利用	各種手続きの迅速・正確性 適切な廃棄物処理 官公庁職員との付き合い方 官公庁との適正な取引 反社会勢力への対応 行動規範の遵守 交通ルール・マナーの遵守 社会への貢献活動

圧倒的なスケールで、 変革する医療業界を牽引していく。



病院から、介護施設・リハビリ施設、さらには在宅療養まで広がりを見せる医療の現場で、私たちは患者様一人ひとりのQOL(クオリティ・オブ・ライフ)の向上に対し、真剣に取り組んでいます。
だからこそ、医療に携わる企業グループとして、規模と品質ともに日本一を目指しているのです。
規模を拡大しマーケットシェアを高めること、独自のSPDやそこに連動したシステムやサービスの数々を普及させること、そして私たちの信念や情熱を日本全国に広げること。それこそが安全で質の高い医療を、安価で安定的に提供することにつながると思います。
またそれが、日本の医療環境の改善にも役立つと自負しています。
メディアスホールディングスのこれからの、どうぞご期待ください。

メディアスホールディングス株式会社
代表取締役社長 池谷 保彦

経営方針

当社グループは医療機器や福祉機器の販売を主な事業としております。
地域の医療機関や福祉施設への医療・福祉機器の販売を通じて、地域の皆様が健康で豊かな生活を送ることに貢献できることに大きな責任と喜びを感じています。
近年、少子高齢化社会を迎え、医療制度や介護制度が大きく変わろうとしております。
最大のテーマは『国民の社会保障負担を最小にして最良の医療・福祉を提供する』であります。
当社グループはこのテーマの実現に少しでも貢献できるよう、安全で高品質な物流体制の構築とより安く医療・福祉機器を提供できる販売体制の構築を目指していきます。そして、医療機関の皆様や患者様、体の不自由な方々が医療・福祉機器を安全に安心してお使い頂けるよう安価に提供することで国民医療への貢献と企業価値の最大化を図ります。

戦略コンセプト

近年の医療機器販売業界は医療費抑制政策による市場の成長鈍化により競争がますます激化してまいりました。当社グループはスキルアップトレーニングを通じて販売員の販売力強化を図るとともに、社内LANを活用した情報の共有化による提案力の強化を図り売上の増加を見込んでおります。
2005年4月の薬事法改正にともない、医療機器の安全性の確保等が一段と強化されましたが、当社グループは独自に開発した物流システムを活用して医療機器の安全性の確保と業務の効率化を図っております。
医療構造改革の進展にともない医療機器販売業界の再編機運が高まってきております。当社グループはM&Aを積極的に推進することで業界再編の中核企業として業容の拡大を図ります。また、医療機関においても経営改善を余儀なくされており、当社グループは医療器械の販売を通じ最適の医療機器ミックスを提案していきます。

ブランドシンボル



医療に携わる私たち(Medical+us)は、
医学的用途(Medical use)に関する知識を深め、
医療現場への情報発信源(Media)としての機能を高め、
同じ志を持つ仲間(us)を増やし、
医療環境の明日(アス)を創造していきます。